

高知新聞

須工ユニバーサルデザイン科

須崎工生と園児 備品修繕など交流

須崎署の「絆教室」

【須崎】須崎署は28日、須崎工業高校の生徒の協力を得て、須崎市多ノ郷甲のあおい保育園で「地域の絆教室」を開いた。同校3年生9人が紙芝居の読み聞かせや備品の修繕などを行い、園児と交流した。

同校ユニバーサルデザイン科の生徒は、手作り紙芝居の読み聞かせや遊具の寄贈などを通じて同園と交流がある。今回は須崎署が呼び掛け、読み聞かせと備品の修繕を併せて行

うことになった。

生徒たちは2班に分かれ、防犯などをテーマにした紙芝居を読み聞かせたり、テーブルや棚のねじを締め直したり。さまざまな器具を使った修繕作業に、園児たちは興味津々で見入っていた。

おもちゃの修繕などを手掛けた松岡健幸さん(18)は「ありがたい」とって直接言われるのがうれしいです」と笑顔を見せていた。

「教室は、子どもに「地域とのつながりを感じてもらおう」と昨年初めて開催し、2回目。

(山本 仁)



棚のねじを締め直す須崎工高の生徒たち

(須崎市多ノ郷甲)



地域に貢献 絆教室

あおい保育園児と交流